

[別紙②]

「皮から革へ」 ～たつのの革をもっと広めよう～

(1)総合的な学習の時間における取組

総合的な学習の時間に、たつの市の主要産業である皮革産業について、社会科の学習と関連させながら調べ学習や見学、体験を進めていった。児童の関係者の中には、皮革工場や関連工場に勤めている方もいる。しかし、皮革工場や皮革製品について興味をもったことがなく、揖保町に工場があることを知らない児童もいる。このことから、

まずは皮革製品に良いイメージをもたせるために、たつのレザーさんをお招きし、ペンケースづくりを行った。(写真①)

次に、「ペンケースの材料の革は何でできているのかな」と問い、牛の命をいただいていることや、皮をとるためだけに牛を殺しているのではなく、肉に加工する際の副産物であること、



写真②

命をいただいているからこそ大切に加工していることを知識としておさえておいた。さらに、写真や資料だけでなく、「加工の様子を見に行こう」と工場見学に行くことを計画した。(写真②)

当日は、初めて見る大きな機械や、働く人たちの真剣な表情に圧倒されているようだったが、実際に製品に触れさせていただく機会であったり、職人さんの口からも、「命をいただいているから大切に加工するんだ」という話を聞くことで、児童にとって深い学びへとつながった。

工場見学後は、本時の実践である「未来に広がれ たつのレザー」の学習を行った。本時に至るまでに多くの体験や見学を行ってきたことで、児童は働く人の思いや、資料に入りやすかったと考える。さらに、授業後には「たつのレザージュニア」として、たつのの革を広める活動を自分ごととして進めていくことで、より自分たちの町に愛着をもてるような学習となった。

写真①



(2) 児童の活動の様子



(3) 児童のふり返し

- ・ あきらめたら、たつの市の革を知ってもらえないままだから、あきらめずに声をかけ続けたんだと思いました。
- ・ あきらめることのほうが簡単だけど、それをしなかったのは、たつの革に自信をもっていただけだと思います。私も、広める手伝いをしたいです。
- ・ たつの革は、品質・美しさ・色はどこにも負けないから、外国の品質に負けないものを作っていきたいと考えたと思いました。私も、自分にできることをしていきたいと思いました。
- ・ たつの革を知ってもらうために、ロゴマークを作るときにたくさんの人の意見を集めたことはとってもいいと思いました。あきらめたくないという気持ちでたくさんの人に広められていてすごいなあと思いました。たつの革を守りたいという気持ちが大きかったと思います。
- ・ ここであきらめてしまえば、今までの努力が水の泡になってしまう。反対する声が多くても、自分の思い(たつの革を広めたい)を貫いた職人の人はすごいと思います。
- ・ 私の身の回りには、多くの皮革製品があったことを初めて知りました。揖保町に工場がたくさんあったこともおどろきました。これから、もっともっと皮革製品や工場が有名になってほしいです。

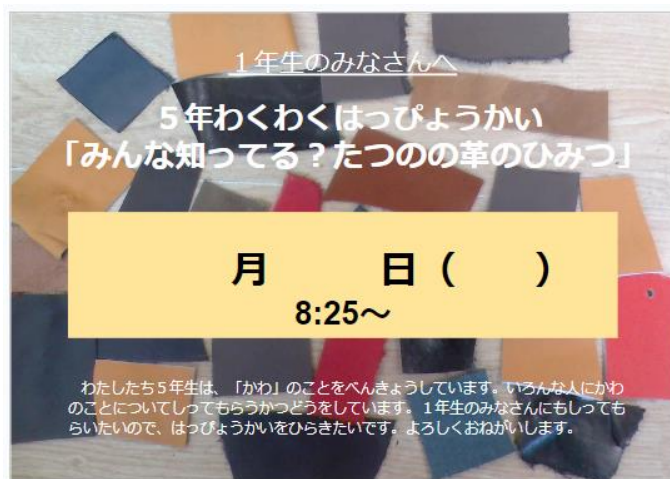
(4) 児童の変容

児童の実態にあったように、はじめは揖保町の皮革工場について知らなかった子も、今では自分ごととして、たつの革を広めようと努力している。これには、たつのレザーさんをはじめ、多くの人との出会いがあったからと考える。また、皮革製品の手触り、風合いなど、自分が感じたことを伝えたい(広めたい)となったことも大きかったといえる。

今後も、体験や出会いを大切に、児童の変容を見取っていきたい。

(5) 3学期の活動 (たつのレザージュニア)

2学期に「たつのレザージュニア」として活動したいという思いをもった児童は、3学期になり「自分たちの学びをもっと広めたい」「たつのはらについてもっと知って欲しい」と考えるようになった。そこで、他学年に向けての発表を企画することになった。



左の写真は発表会のチラシである。学年に合わせてふりがなをつけたり、表現を変えたりすることで、どの学年にもたつのはらの良さが伝わりやすいようにした。そして、発表の際にはスライドを活用し、皮から革への作業の様子を動画にしたり、クイズを交えたりと、たつのはらの良さが充分に伝わる内容となった。



さらに、発表の後にはイメージキャラクターのアンケートをとった。およそ 100 件の結果から選ばれたイメージキャラクターを作成した児童も、とても喜んでいるようだった。

たつのレザージュニアキャラクター 投票アンケート

たつのレザージュニアキャラクター投票アンケート

ご協力をお願い

わたしたち播磨小学校5年生は、今、いいほの時間で、たつのはらにつす。

わたしたちは、たつのレザージュニアとして、たつのはらのよさを皆さ活動しています。

イメージアップ課では、たつのレザージュニアのキャラクターの制作を生でアンケートを取りました。13個のイラストが集まりました。皆さんたいです。ご協力お願いいたします。

たつのレザージュニア イ

②たつのレザージュニアにふさわしいキャラクターを選択してください。



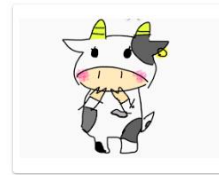
1



2



3



4

(6) 成果及び今後に向けて

児童は、この活動を通してより自分たちの地域に愛着がもてるようになったと感じる。発表を企画している段階でも、「もう一度調べ直してみよう」や、「低学年に分かりやすい言葉にしようよ」などの発言が見られた。このことから、調べ活動で終わらず、発表やふり返りを行うことで、確かな学びにつながったことが分かる。今後とも、児童の疑問やつぶやきを大切に活動を進めていきたい。